

新一年生のご家庭へ

相田 みるほの言葉に“人の世の幸不幸は人と人が
出逢うことから始まる良き出逢いを”とあります。

96名の卒園児たちが、それぞれの小学校で、すてきな仲間たちとすてきな教師と
出逢えることを心から願っております。

小学校は徒歩通学ですね。春休みの間に
通学路を親子でしっかり確認しておきましょう。

ポイント

- 交差点での横断歩道の渡り方を親子でしてみましょう。
青信号でも安心できない事があります。
右折車と左折車と入ってきます。
- 広い駐車場や道路脇の駐車中の車には危険がいっぱいです。
いつ動き出すのか子どもには分かりません。バックをする人は
子どもの姿を確認しておきましょう。
- 危険を予測する心を育てましょう。
止まる！ 待つ！ 観る！ 聞く！ をどう一度！

卒園生のご家庭へ 双ばだけ！ 自然の力

自然の力と言う苗床で育った苗は、小学校と言う田んぼに移れます。年長児96名の業立です。
苗床とは違う環境が待ち、風の強い日もあれば寒い日もあります。
育った苗は、健やかな育ちを支える根っこはしっかりと育っております。

幼稚園は親が選びました。小学校は選べません。どの子どもと与えられた環境のどこで精いっぱい
頑張りたいか、良き出逢いに恵まれる事を心から願っております。

この3年間と4年間は数々の課題に挑戦の毎日でした。沢山の失敗、沢山のくやしき、
沢山の汗、そして沢山の喜びを経験しました。この経験が子どもたちの心を育ててくれました。
自分が苦勞をして汗を流して来たから他人の痛みが分かる子に育ちました。「思いやり」です。
お父さん！ お母さん！ これから我が子のこの心を大切に育ててあげてください。

子どもは無限の可能性を持っております。出来な^おい子なんて居りません。
近道よりも、まわり道の経験は遠く賢く育ててくれます。平坦で掃き清められた道を行くよりも、
岩あり、穴ありの道を自分で考えながら歩む経験は「心」を育ててくれます。
「意欲」と「思いやり」と言う「根っこ」を育ててくれました。

教育は植林とも言われます。小さい苗木がすくすくと育ち、20年、30年、40年後に沢山の
枝を伸ばし、葉が生い繁り、新しい風を吹き出すように、業立ち行く子どもたちと、
新しい風を吹き出す人として、活やくて欲しいと心から願っております。

今年度96名の業立ちで、この49年間に5414名の卒園生を数えます。
ご承知のとおり、卒園生が家庭を持って生まれたお子さんを入園させてくれるようになってから
久しいですが、私にとってこんなうれしい事はございません。やがてお孫さんの入園を
夢ではありません。そんなうれしい事実を楽しみにしております。

これに寄せられましたご家庭のご理解とご協力に心からお礼を申し上げ、
お子さまたちの健やかな育ちを願ってご挨拶いたします。

理事長 小柳 裕彦